

JASDAQ

Listed Company 3052

協和医科器械株式会社

静岡より全国NO1へ 当社グループの戦略

2008年4月12日



1. 会社概要
2. 沿革
3. 事業内容
4. 医療機器販売事業
5. その他の事業
6. 事業系統図
7. 医療機器販売事業営業体制
- 2008年6月期 中間期業績
8. 2008年6月期 中間決算の総括
9. 2008年6月期 中間期の概況
10. 2008年6月期 四半期業績の推移
11. セグメント別実績
12. 製品群別実績
13. 主要仕入先・販売先（当社単体）
14. オズ対前年度売上比較
15. 営業エリア
16. 都県別販売実績
17. 財務分析 貸借対照表
- 今後の展開
18. 当社ビジネスの外部環境について
19. 医療費の増加と医療機器ビジネスの拡大
20. 診療報酬改定の状況
21. 制度改革に対抗する強化策
22. 医療機器卸業者の現状
23. 業界内の集約化
- 24・M&Aに関する取り組み等
- 25・当社の基本戦略
26. 2008年6月期 業績予想（連結）
27. 中期業績目標（連結）
28. 配当政策
29. 株主状況
30. 問合せ先
- 補足資料
1. 業界環境①
- ②
- ③
2. セミナー実績

会社概要

1. 会社概要

- 【会社名】 協和医科器械株式会社
- 【本社所在地】 静岡県静岡市清水区草薙北3番18号
- 【設立】 1959年7月
- 【代表者】 代表取締役社長 池谷保彦
- 【資本金】 829,699,240円
- 【事業内容】 医療機器の販売及びメンテナンス
介護福祉機器の販売及びレンタル事業
- 【従業員】 543名 <連結> (2007年12月末現在)
- 【決算期】 6月末
- 【支店】 横浜・甲府・沼津・焼津・掛川・浜松・豊橋・名古屋・小牧
- 【営業所】 江東・東京・厚木・岡崎
- 【ベネッセレ】 静岡・岡崎・飯田
- 【グループ会社】 子会社1社 株式会社オズ (持株比率100%)
関連会社1社 株式会社エヌエイチエス静岡 (持株比率34%)
- 【経営理念】 医療器械の販売を通じ地域医療の向上に貢献し
事業の限りなき発展と共に社員の福祉向上を目的とする

2. 沿革

- 1959年 7月 静岡県清水市(現静岡県静岡市)に**協和医科器械株式会社**を設立し医療機器販売事業を開始。
静岡県静岡市に**静岡営業所**(現ベネッセレ静岡)を開設。
- 1965年 8月 静岡県沼津市に**沼津営業所**(現沼津支店)を開設。
- 1968年10月 静岡県浜松市に**浜松営業所**(現浜松支店)を開設。
- 1975年 8月 レントゲン及び医用電子部門の販売力を強化するため**精工医科電機株式会社**を吸収合併し、
ME事業部を創設して修理及びメンテナンス事業を開始(現技術部門)。
- 1980年 5月 山梨県田富郡に**山梨営業所**(現甲府支店)を開設。
- 1980年 8月 レントゲン及び医用電子部門の専門性と販売力を強化するためME事業部を独立させ静岡県
清水市(現静岡県静岡市)に**株式会社協和エムイー**設立。
- 1981年 1月 循環器科・眼科の専門性と販売力を強化するため**株式会社オズ**(現連結子会社・特定子会社、
本社:静岡県静岡市)に資本参加。
- 1993年10月 神奈川県横浜市に**横浜営業所**(現横浜支店)を開設。
- 1995年10月 東京都府中市に**西東京営業所**を開設。
- 1995年11月 静岡営業所内において介護福祉事業ショップとして**ベネッセレ静岡**を開設。
- 1997年 8月 愛知県名古屋市に**名古屋南営業所**(現名古屋支店)を開設。
- 1998年12月 愛知県内の販売力強化のため**株式会社ハヤシ**の株式を100%取得。
- 2005年 6月 神奈川県厚木市に**厚木営業所**を開設。
- 2006年 5月 長野県飯田市に**ベネッセレ飯田**を開設。
- 2006年 9月 **ジャスダック証券取引所に株式を上場**
- 2007年 7月 **株式会社栗原医療器械店との業務提携締結。**

医療機器販売事業

国内の医療機器メーカー・代理店・商社等(約1,000社)より仕入れた医療機器(備品・消耗品)など約20数万点にも及ぶ商品を国内の病院等医療施設に販売しており、当社グループの基幹事業であります。

その他の事業

(1) 介護福祉機器の販売及びレンタル事業

国内の介護福祉機器メーカー・代理店・商社等より仕入れた介護福祉機器(備品・消耗品)を国内の病院等医療施設及び一般個人に販売しております。また、介護福祉機器の一般個人へのレンタルを行っております。

(2) 医療機器の修理及びメンテナンス事業

当社が病院等医療施設に販売した医療機器の修理及びアフターサービス、病院等医療施設との保守契約に基づく医療機器全般のメンテナンスを行っております。

4. 医療機器販売事業

先端医療機器

- **画像診断装置** PET、MRI、CT、エコー
- **内視鏡** ビデオ内視鏡システム、外科内視鏡システム
- **各種臨床検査機器**
生化学自動分析装置、尿分析装置
- **眼科** 自動視野計、レーシック、フェイコマシーン
- **カーディオバスキュラー(心臓循環器系)用具**
人工心臓弁、ペースメーカー、ステント

医療用具・備品

- **消耗品類** 注射器、点滴用品、X線フィルム
- **検査機器** 血圧計、顕微鏡、心電図検査機
- **病院内備品** ベッド、車椅子、薬品棚
- **手術用機器・手術用具** 人工関節等
- **その他** レセプトコンピュータ、電子カルテ

検査や治療を迅速・正確にするための先端医療機器販売と

注射器などの消耗品から事務機器まで薬品以外のほとんど全てをカバー



5. その他の事業

(1) 介護福祉機器の販売及びレンタル事業 他

救急車搭載医療器械



介護福祉機器(備品・消耗品)



販売・レンタル

介護施設等

一般個人

レンタル件数: 約33,000件

(2) 医療機器の修理及びメンテナンス事業

当社が販売した医療機器の修理及びアフターサービスが基本であり、安定収入となっています。

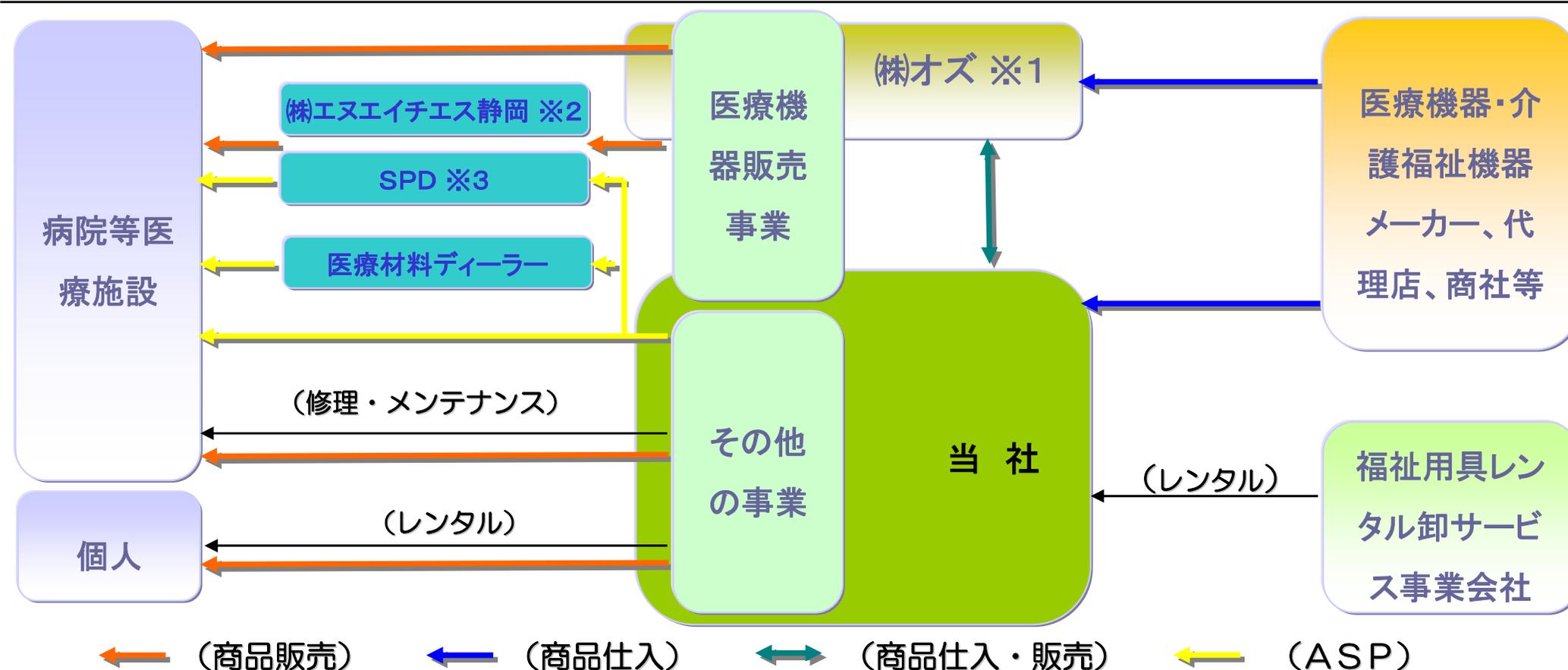
修理及びアフターサービス対象製品: X線診断装置・心電計 等

保守契約施設数: 約250施設



(3) メディカルシステム事業 (ASPサービス)

6. 事業系統図



※1 (株)オズは連結子会社(100%出資)であり、静岡県内において心臓循環器系の販売事業を行っております。

※2 (株)エヌエイチエス静岡は持分法非適用の関連会社

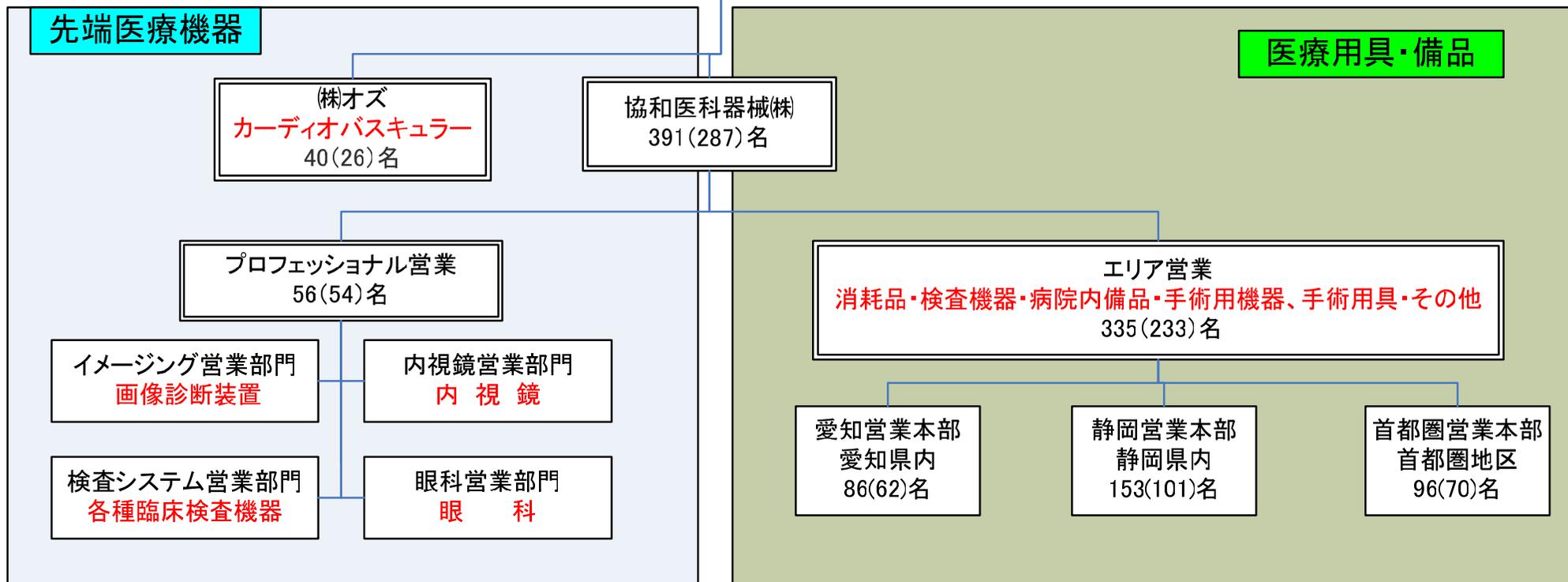
※3 Supply Processing & Distributionの略語で、病院が医療材料の物流管理を外注化し、病院所有の在庫の削減、病院側の物品管理作業の軽減を図るシステムのことであります。SPDの運用は、病院との契約により、医療機器販売会社又は専業の会社が行います。当社グループにおいては(株)エヌエイチエス静岡がSPDの運用を行っております。

※4 Application Service Providerの略語で、ユーザーはウェブブラウザなどでアクセスして弊社が保有するインターネット上のサーバーに格納された在庫管理ソフトをレンタルで利用する仕組み

7. 医療機器販売事業営業体制

医療機器販売事業営業組織

協和医科器械グループ
431(313)名



※人数の内()内は営業担当者の数です。

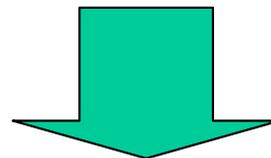
2008年6月期 中間期業績

売上高

静岡県内において病院新築案件に係る売上が予定通り計上でき、循環器関連の症例増加によりバルーンカテーテルや冠動脈ステント等の高額消耗品の販売が大幅に伸びたこと等により前年同期を上回りました。

経常利益

業務の効率化により販売管理費の増加を抑制できた事に加え、M&A等業界再編に備えた費用を予算計上していましたが上期に執行されなかった為に前年度を大きく上回りました。



前年同期比：売上高9.4%増 経常利益75.1%増 中間純利益80.9%増

9. 2008年6月期 中間期の概況



(単位：百万円、%)

連結損益	07/6期 中間期(実績)		08/6期 中間期(当初予想)		08/6期 中間期(実績)		対前年 増減額 (前年比)	対予想 増減額 (予想比)
	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比		
売上高	24,985	100.0	26,730	100.0	27,327	100.0	2,341 (109.4)	597 (102.2)
売上総利益	2,762	11.1	2,930	11.0	2,985	10.9	222 (108.1)	55 (101.9)
経常利益	180	0.7	185	0.7	315	1.2	135 (175.1)	129 (170.3)
中間期純利益	98	0.4	97	0.4	177	0.7	79 (180.9)	80 (182.5)
1株当たり利益 (円 銭)	13.78		11.63		21.17		7.39 (153.6)	9.54 (182.0)

※ 当初予想は2007年8月15日発表、2008年2月7日修正

10. 2008年6月期 四半期業績の推移



(単位：百万円、%)

		2006年6月期		2007年6月期		2008年6月期
		金額	構成比	金額	構成比	金額
売上高	第1四半期	10,395	21.5	12,626	25.5	13,256
	第2四半期	12,584	26.0	12,359	25.0	14,071
	第3四半期	14,208	29.4	13,094	26.4	-
	第4四半期	11,164	23.1	11,431	23.1	-
営業利益	第1四半期	46	8.4	23	7.2	101
	第2四半期	197	35.7	121	37.1	151
	第3四半期	335	60.6	234	71.6	-
	第4四半期	△26	△4.7	△51	△15.8	-
経常利益	第1四半期	71	11.0	32	7.4	131
	第2四半期	218	33.5	148	33.9	184
	第3四半期	358	55.1	262	60.1	-
	第4四半期	2	0.4	△6	△1.4	-

当社グループの販売先はその殆どが医療機関であります。当該機関は当社における第3四半期に設備投資を集中して行う傾向がある為、当社の販売高もそれに連動する傾向があります。

※四半期毎の業績については、監査法人トーマツ(当社会計監査人)の会計監査は受けておりません。

11. セグメント別実績

(単位：百万円、%)

セグメント		07/6期 中間期	08/6期 中間期	前期比
医療機器販売事業	売上高	24,044	26,330	109.5
	先端医療機器	9,179	9,236	100.6
	医療用具・備品	14,864	17,094	115.0
	営業利益	643	774	120.5
その他の事業	売上高	941	996	105.9
	営業利益	21	△15	△74.3

12. 製品群別実績

(単位：百万円、%)

商 品 群 別 売 上 高		07/6期 中間期	08/6期 中間期	前期比
先端医療機器	画像診断装置	1,936	1,159	59.9
	内視鏡	1,617	1,917	118.5
	各種臨床検査機器	1,425	1,565	109.9
	眼科	1,509	1,499	99.3
	カーディオバスキュラー	2,690	3,093	115.0
	合 計	9,179	9,236	100.6
医療用具・備品	消耗品類・手術用機器等	14,864	17,094	115.0

13. 主要仕入先・販売先（当社単体）

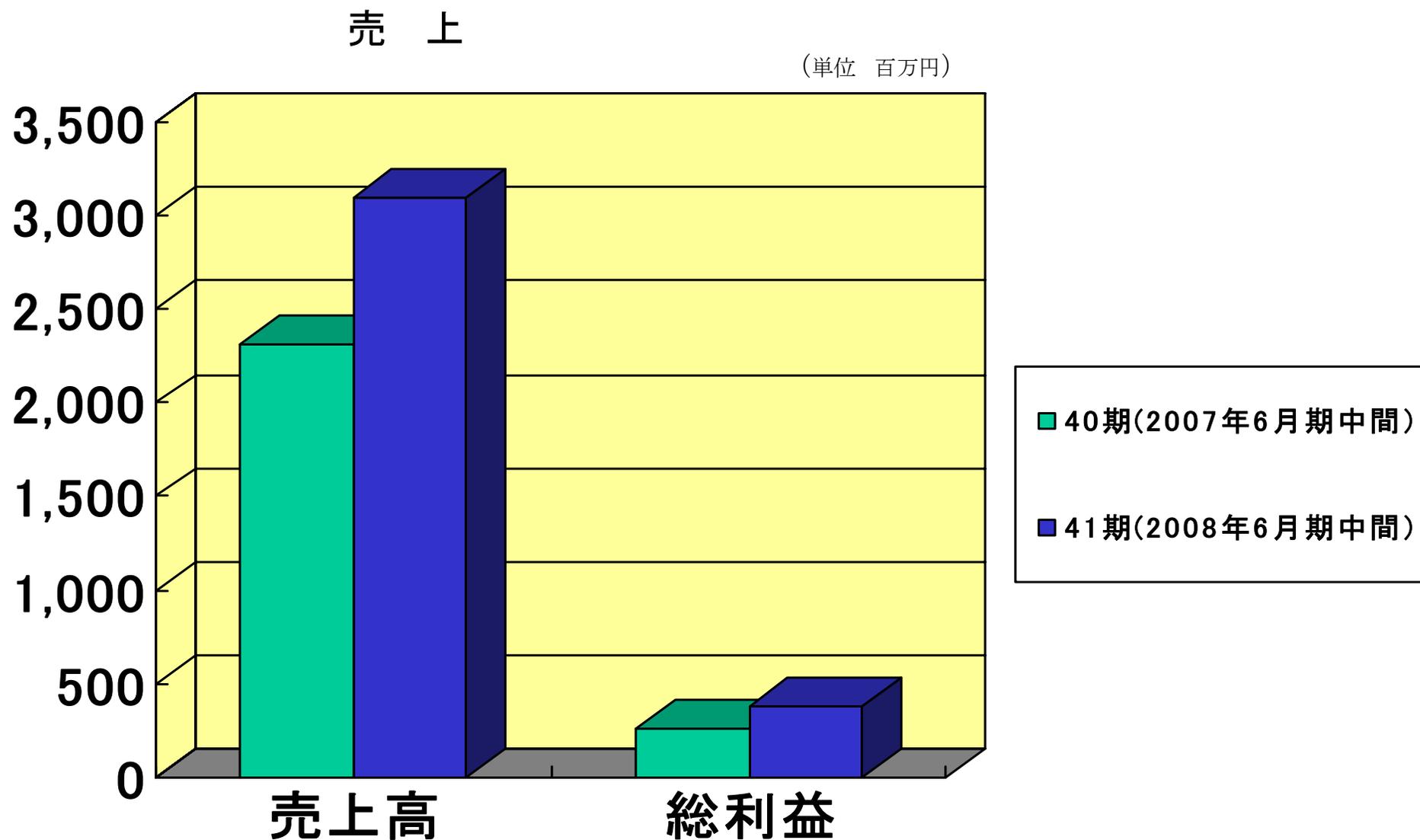
（単位：千円、％）

仕入先名	仕入品目	07/6期末		08/6期中間期	
		仕入金額	比率	仕入金額	比率
A社	ステント、針付縫合糸、自動吻合器他	3,148,096	7.8	1,778,760	7.9
B社	放射線診断機器、医療用設備機器他	50,500	0.1	941,239	4.2
C社	人工肺、血管手術用カテーテル他	1,557,606	3.9	832,891	3.7
D社	不織布、キット他	1,373,007	3.4	815,867	3.6
E社	放射線診断機器他	1,497,362	3.7	759,879	3.4
その他約1,200社		32,806,712	81.1	17,383,636	77.2
合 計		40,433,283	100.0	22,512,272	100.0

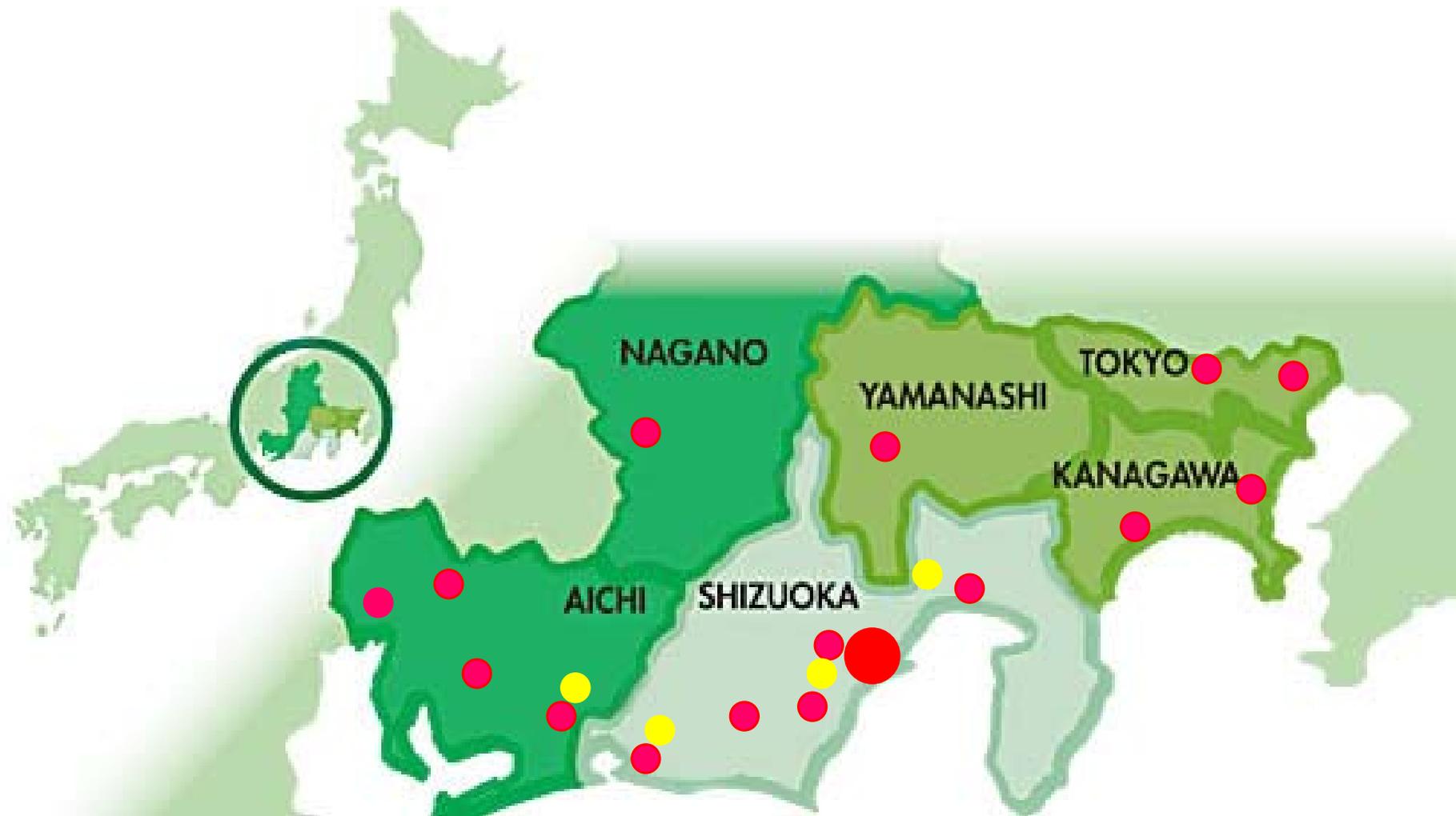
仕入・販売先とも分散しており、一得意先の影響が受け難くなっています。

販売先名	販売品目	07/6期末		08/6期中間期	
		販売金額	比率	販売金額	比率
F施設	医療用器械・消耗品	10,613	0.0	1,135,422	4.6
G施設	医療用消耗品	1,875,244	4.2	1,031,851	4.1
H施設	医療用器械・消耗品	1,982,988	4.4	923,254	3.7
I施設	医療用器械・消耗品	120,621	0.3	897,813	3.6
J施設	医療用消耗品	847,520	1.9	776,736	3.1
その他約2,100社		40,346,213	89.2	20,143,466	80.9
合 計		45,183,198	100.0	24,908,541	100.0

14. オズ対前年度売上比較



15. 営業エリア



静岡県を中心に1都5県に拠点展開

16. 都県別販売実績

(単位：百万円、%)

	07/6期 中間期		08/6期 中間期		前期比
	売上高	構成比	売上高	構成比	
静岡県	14,764	59.1	15,803	57.8	107.0
愛知県	4,922	19.7	6,010	22.0	122.1
長野県	38	0.2	35	0.1	90.9
山梨県	1,153	4.6	1,047	3.9	90.8
東京都	1,063	4.2	1,205	4.4	113.4
神奈川県	3,042	12.2	3,224	11.8	106.0
総計	24,985	100.0	27,327	100.0	109.4

17. 財務分析 貸借対照表

■ 貸借対照表分析

(単位：百万円、%)

貸借対照表	07/6期 中間期 (実績)	07/6期 期末 (実績)	08/6期 中間期 (実績)	コメント
流動資産合計	13,630	13,347	16,171	受取手形及び売掛金の増加
固定資産合計	2,755	2,876	3,101	
資産合計	16,386	16,224	19,272	
流動負債合計	12,157	11,804	14,659	支払手形及び買掛金の増加
固定負債合計	235	242	285	
負債合計	12,392	12,046	14,944	
純資産合計	3,993	4,177	4,327	
負債及び純資産合計	16,386	16,224	19,272	

今後の展開

18. 当社ビジネスの外部環境について

- 高齢化、技術革新、健康志向の高まり等、医療支出は引き続き拡大していく見通し
⇒医療関連ビジネス拡大傾向
- 国家財政を圧迫する社会保障費の拡大抑制として、当局による医療保険制度の改革を推進
⇒病院・診療所の経営環境は急速に悪化、淘汰が加速する可能性

医療支出の拡大

(高齢化、技術革新、健康志向の高まり等)

医療制度改革

(診療報酬引下げ、度重なる制度改定)

医療機関の経営悪化

病院数減少
(販売先減少)

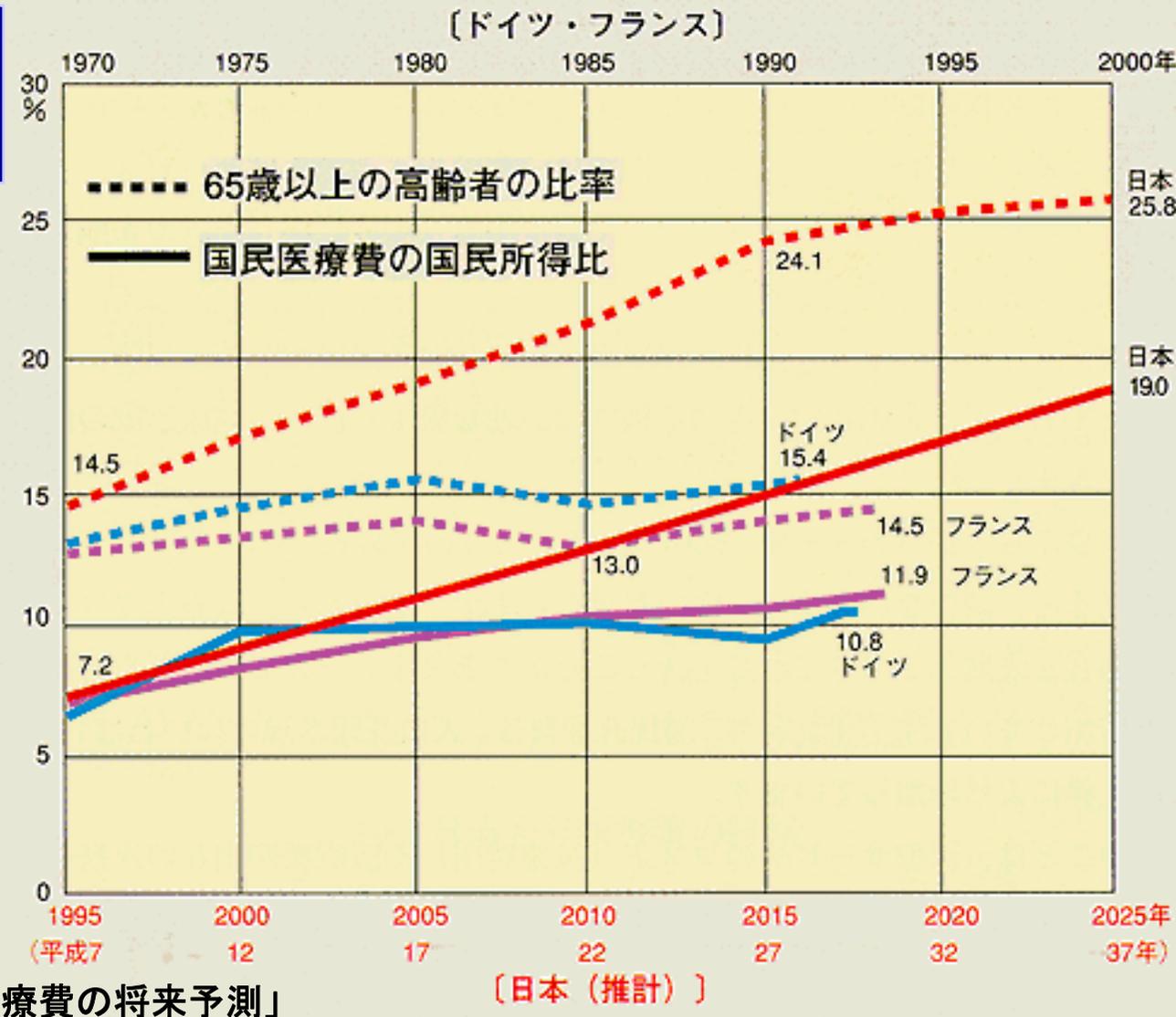
値下げ圧力大
(買い控え)

医療機器販売ビジネスの
外部環境はより厳しい局面

19. 医療費の増加と医療機器ビジネスの拡大

- 高齢化が進むため、医療支出拡大は避けられず、
今後も、医療機器・ヘルスケア市場は拡大していく見込み

高齢化の加速 と医療費の増大



出所)厚生労働省保険局企画課「国民医療費の将来予測」

20. 診療報酬改定の状況

改定年月	診療報酬引上げ率				薬価基準引上げ率		合計 (A)+(B)
	医科	歯科	調剤	医療費 ベース (A)	薬価ベース	医療費 ベース (B)	
89年4月	—	—	—	0.11	2.4	0.7	0.76
90年4月	4.0	1.4	1.9	3.70	-9.2	-2.7	1.00
92年4月	5.4	2.7	1.9	5.00	-8.1	-2.5	2.50
94年4月	3.5	2.1	2.0	3.30	-6.6	-2.1	2.70
94年10月	1.7	0.2	0.1	1.50	—	—	—
96年4月	3.6	2.2	1.3	3.40	-6.8	-2.6	0.80
97年4月	1.3	0.8	1.2	1.70	—	—	—
97年9月	—	—	—	—	-4.4	-1.4	0.33
98年4月	1.5	1.5	0.7	1.50	-9.7	-2.8	-1.30
00年4月	2.0	2.5	0.8	1.90	-7.0	-1.7	0.20
02年4月	-1.3	-1.3	-1.3	-1.30	-6.3	-1.4	-2.70
04年4月	0.0	0.0	0.0	0.00	-4.5	-1.0	-1.00
06年4月	-1.5	-1.5	-0.6	-1.40	-6.7	-1.8	-3.20
08年4月 予定	0.42	0.42	0.17	0.38	-5.20	-1.20	-0.82

薬価部分を含めた全体では0.82%の引下げと4回連続のマイナス。

開業医の初診・再診料の引下げは今回見送り
次回以降の焦点。

- ◆ 介護保険制度改革
- ◆ 第4期介護保険事業支援計画の施行
2009年度に予定

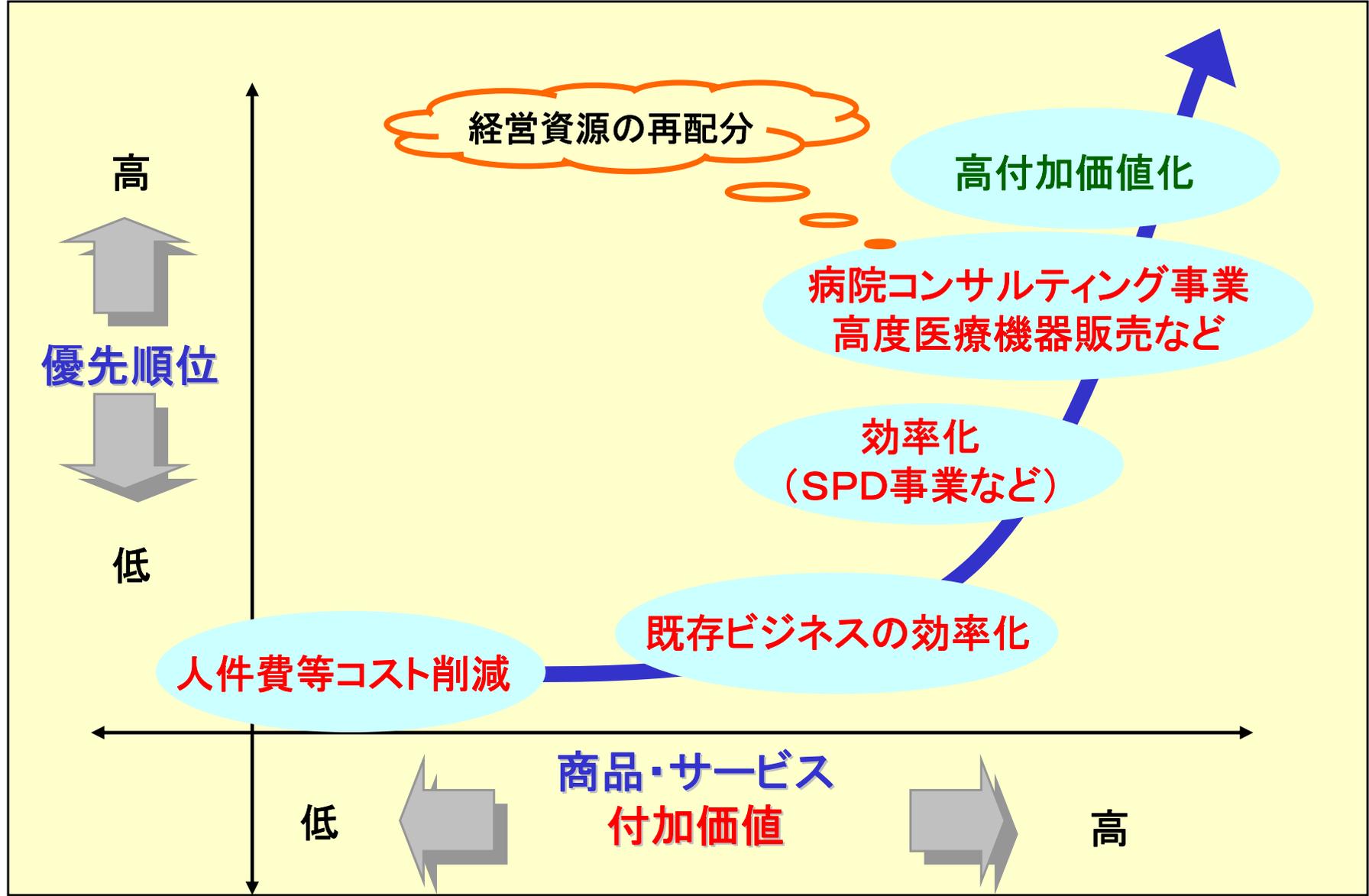
医療機関 → 影響無し

(当社)

2006年4月改定の
1/2の価格下落

21. 制度改革に対抗する強化策

規模拡大による企業価値向上

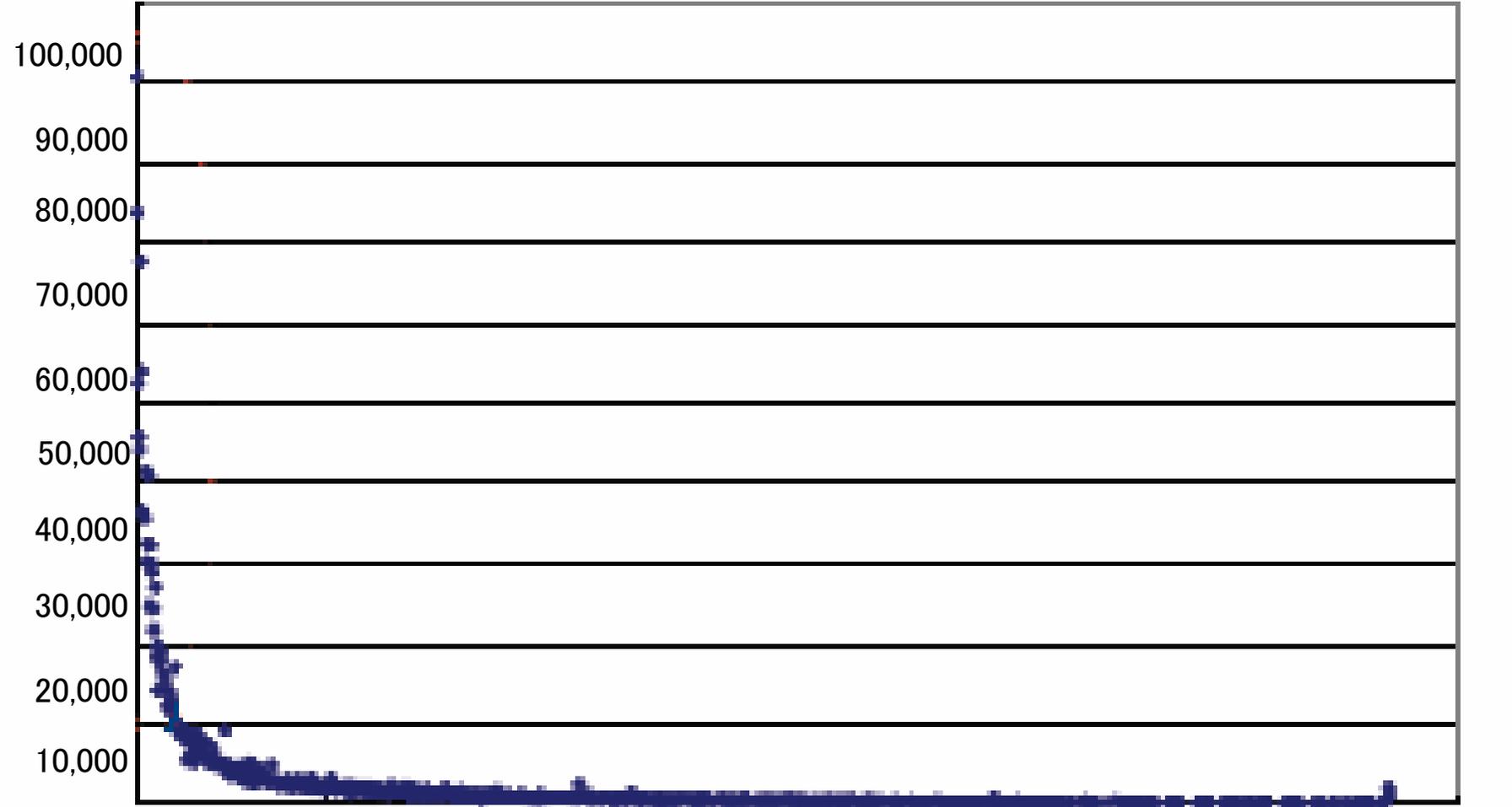


22. 医療機器卸業者の現状



医療機器卸業社散布図

売上(百万円)



(当社調べ)

企業数

23. 業界内の集約化

医療機器ディーラーの合併等の状況

ディーラー名	年 月	内 容
(株)ムトウ (北海道)	2006年 3月 2006年 6月 2006年 7月 2006年12月	木内メディックス（山梨県）に資本参加子会社化 子会社(株)五味医療機器と木内メディックス（共に山梨県）を合併し(株)ムトウ山梨を設立 本社機能の一部（営業企画・仕入部門）を東京へ移転 ハトヤ（長野）買収（50%超）、マスト（長野）資本参加（19.2%）
竹山（北海道）	2006年 9月	医薬品卸ほくたけと共同持株会社設立
(株)栗原医療器械店 (群馬県)	2006年 5月 2007年 4月	イリカ福祉メディカル(株)より営業譲渡 (株)大霜を資本参加により子会社化
(株)八神製作所 (愛知県)	2007年 1月	名張医科産業(株)と合併
小西医療器(株) (大阪府)	2007年 9月	共和医理器(株)（広島）と共同持株会社設立
グリーンホスピタル サプライ (大阪府)	2006年 8月 2006年11月 2007年 3月 2007年 7月 2008年 2月	サンライフ（神奈川）買収 セントラルユニをTOBにより買収 調剤薬局、仙台薬局買収 医療機関向けコスト管理コンサル、エム・アール・ピーに資本参加（25.5%） 幹細胞治療に関する開発、商業化を行う米サイトに資本参加（11.5%）
(株)カワニシホール ディングス (岡山県)	2006年 1月 2006年 4月 2006年 7月	ネオス医科(株)（奈良県橿原市）の株式を100%取得 日光医科器械(株)にネオス医科(株)を合併 高塚薬品(株)（岡山市）の株式を100%取得
山下医科器械(株) (福岡県)	2008年12月	宮野医療器(株)と共同持株会社設立発表

24. M&Aに関する取り組み等

株式会社栗原医療器械店との業務提携による効果

- ① MSCの共同販売（実施済）
- ② データベースの共同化（検討中）
- ③ 共同仕入れ（検討中）

商 号	株式会社栗原医療器械店
主な事業内容	医療機器等卸売事業
設 立 年 月	1964年7月
本 店 所 在 地	群馬県太田市清原町4番地の6
代 表 者	代表取締役会長 栗原 稔 代表取締役社長 梅澤 悟 代表取締役副社長 小林 清
資 本 金 の 額	160百万円
年 商	449億円（2007年6月期）
従 業 員 数	554名

M&Aに関する考え方

- ① 強者と強者の統合
- ② 地域が補完できる
- ③ 有力メーカーの販売代理店権を持っている
- ④ 同業他社への水平展開

25. 当社の基本戦略

課 題	対 応 策
1. 特定の営業地域への集中	・多様化する医療機関のニーズへの対応 ・業務効率の改善 国内最大市場である首都圏地域での競争力アップ ・M&Aの推進
2. 医療費抑制政策の推進 医療構造改革の推進による医療施設の減少	
3. 医療機関の経営統合や共同購入の進展	
4. 商品の安全性確保の為にIT設備投資費用の拡大	

上記課題を認識し、従来と変更無く対応策を実行しています

- ・ 栗原医療器械店との業務提携
- ・ 新基幹システムへの今期投資 497,700千円

26. 2008年6月期 業績予想(連結)



(単位：百万円、%)

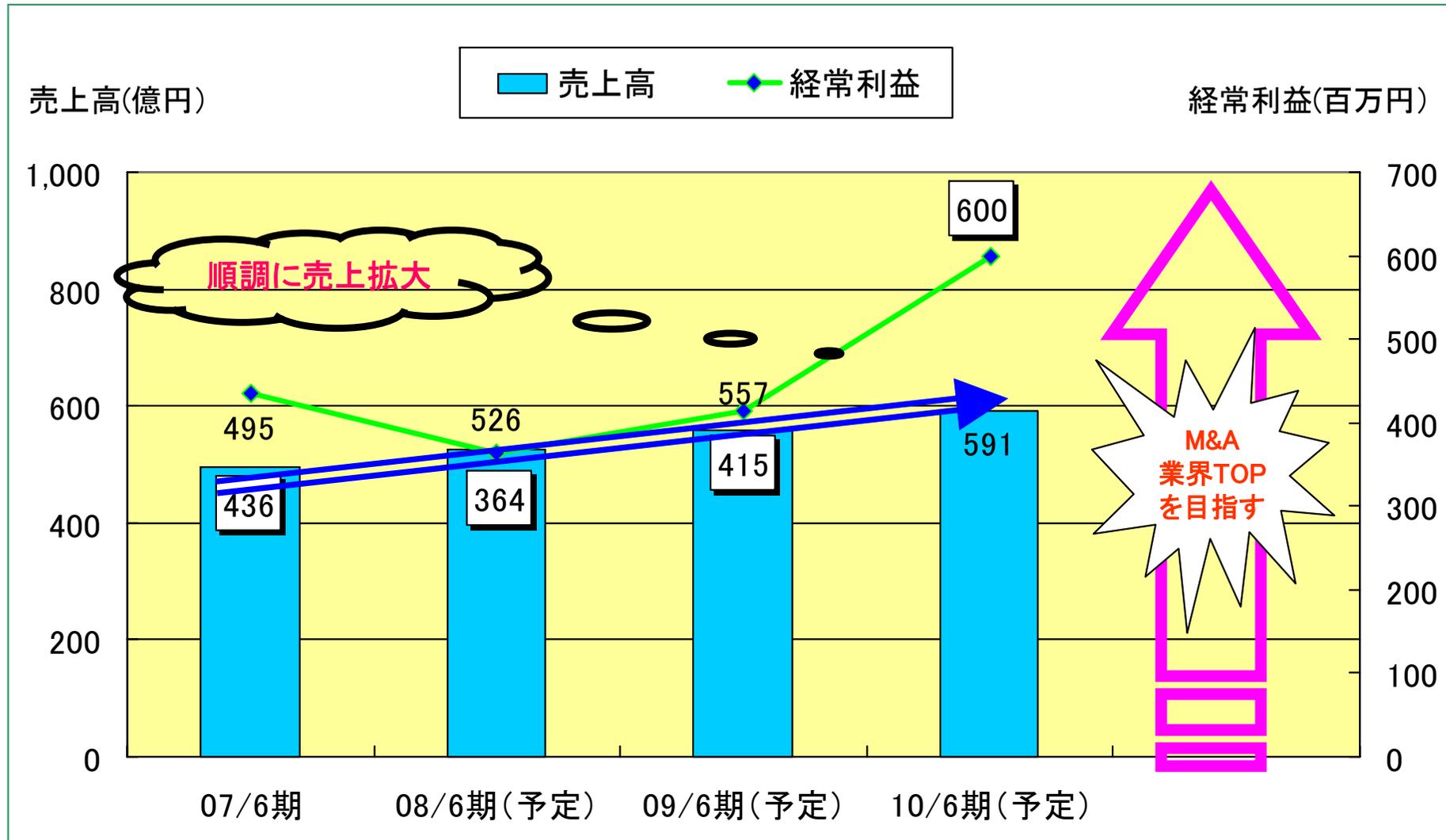
損益		07/6期 (実績)	08/6期		前期比	
			上期 (実績)	下期 (予想)		
売上高	医療機器販売事業	47,481	26,330	24,109	50,439	106.23
	その他の事業	2,030	996	1,129	2,125	104.72
	合計	49,511	27,327	25,238	52,565	106.17
営業利益		327	253	△8	245	74.78
経常利益		436	315	49	364	83.58
当期(中間)純利益		243	177	2	179	73.67
売上高営業利益率		0.66	0.93		0.47	-

達成のためのポイント:

- ・ 償還価格引下げによる売上総利益率の低下を最小に抑えるために大量購買による価格交渉等で仕入価格の削減を図る
- ・ 高度先端医療機器等の器械備品の案件を確実に成約に結びつける
- ・ 首都圏・愛知県の新規顧客に対し営業努力により販売増加を図る

27. 中期業績目標(連結)

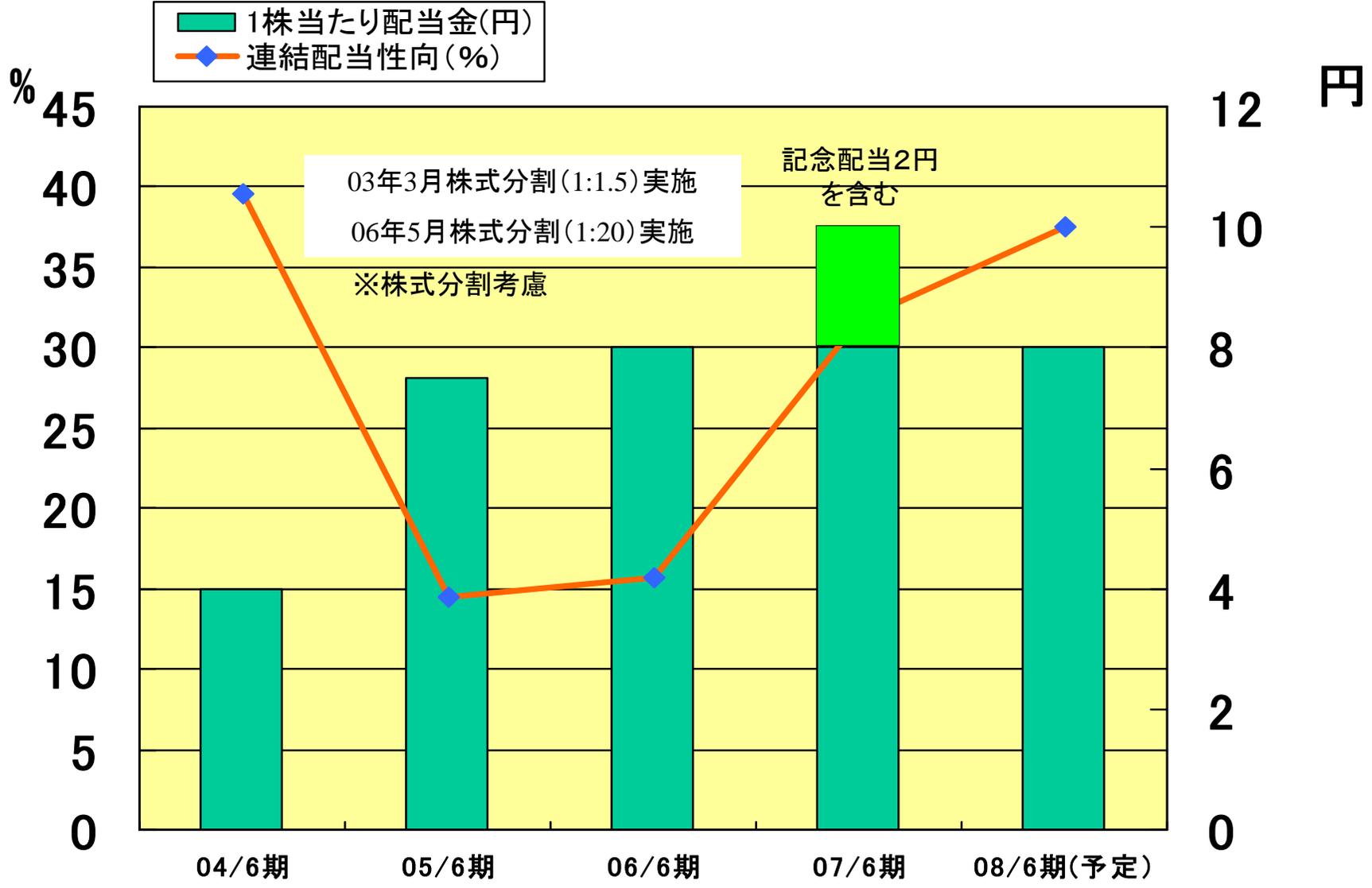
+アルファはM&Aの成否次第



28. 配当政策

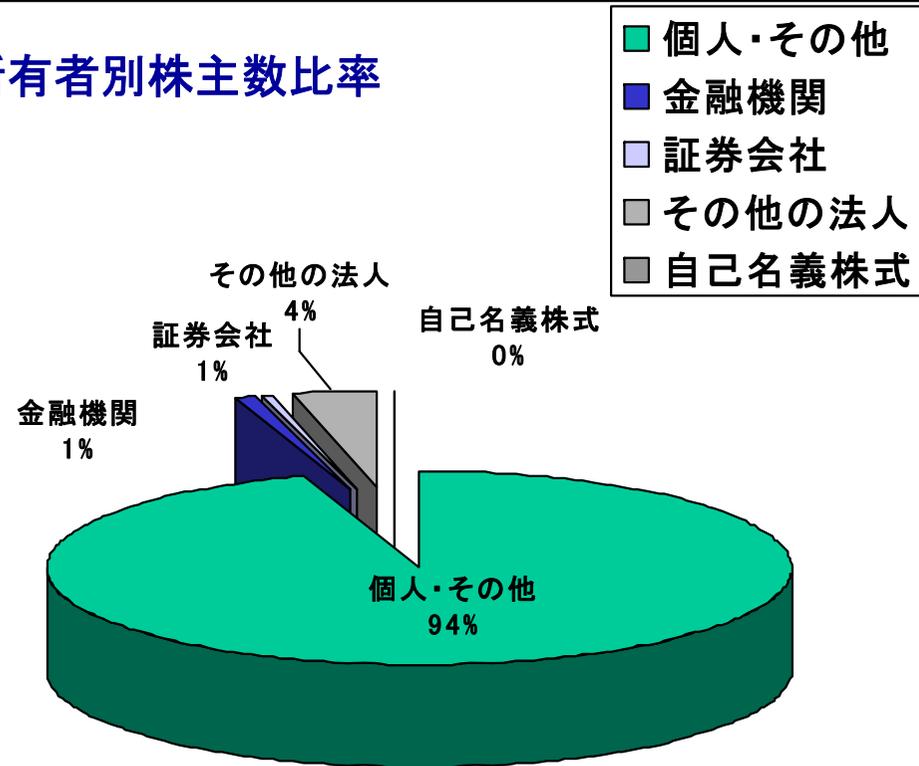


中長期に渡る経営基盤の強化と事業拡大に必要な内部留保を確立しつつ、成長に応じた成果の配分を実施（連結配当性向20～30%前後）する事を基本方針としております。



29. 株主状況

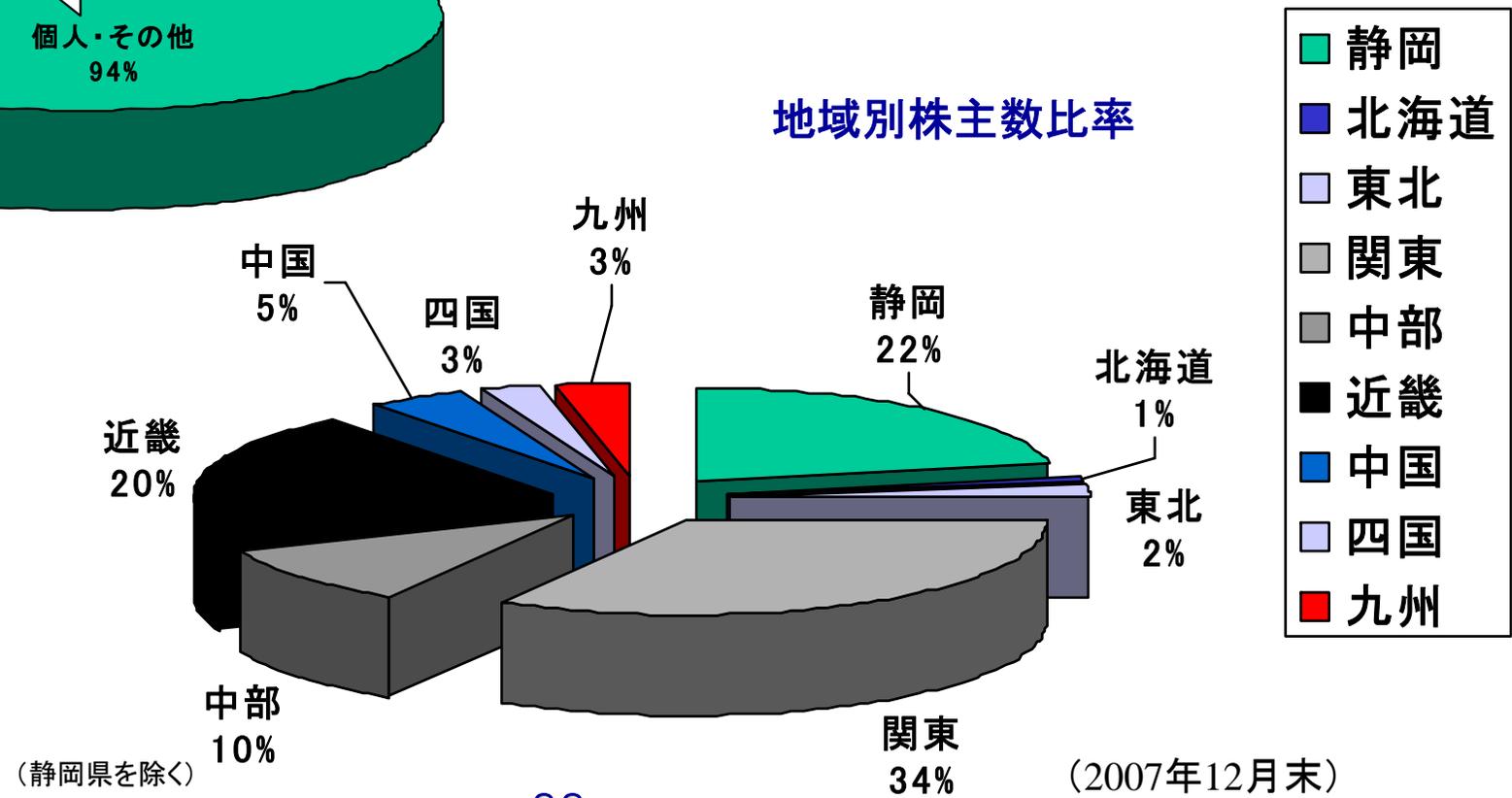
所有者別株主数比率



発行可能株式数	22,000,000 株
発行済株式総数	8,386,500 株
株主数	1,065 名

(自己株式 3,300株含む)

地域別株主数比率



I R
担当役員 代表取締役社長 池谷 保彦
事務担当部署 経営業務支援室

情報開示
担当役員 取締役常務執行役員
兼経営管理本部長 柴田 英治
事務担当部署 経営企画部門

T E L : 054-345-8144

F A X : 054-349-2021

メー ル : ir_k@kyowaika.co.jp

U R L : <http://www.kyowaika.jp/>

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。

補足資料

1. 業界環境①

業界順位(専業ディーラー別)

(単位:%)

順位	静岡県		愛知県		山梨県	
	社名	シェア	社名	シェア	社名	シェア
1	当社	28.7	八神製作所	27.3	マコト医科精機	23.7
2	八神製作所	9.2	三輪器械	5.3	豊前医化	15.3
3	オズ	6.9	当社	5.2	ムトウ山梨	12.2
4	富士フィルムメディカル	3.8	エッチエスメディカル	2.9	当社	10.0
5	コニカミノルタメディカル	3.1	名古屋医理科商会	2.6	平塚メディカル	4.1
6	東西医用器	2.9	コニカミノルタメディカル	2.3	中央メディカル	2.5
7	アクセス	2.9	リイツメディカル	2.2	伊東メディカル	2.4
8	西村医療器	2.8	ワキタ商会	1.9	富士フィルムメディカル	1.6
9	メディカルプロジェクト	2.7	加藤器械店	1.8	平穂医科器械	1.1
10	リイツメディカルサプライ	2.6	トウルムホッホメディテック	1.4	ライフサポート	1.1

出所)「医療機器・用品年鑑2007年度版市場分析編」(株)オールアンドディ発行より

業界順位(専業ディーラー別)

(単位:%)

順位	神奈川県		群馬県		茨城県	
	社名	シェア	社名	シェア	社名	シェア
1	サンメディックス	5.2	栗原医療器械店	36.6	栗原医療器械店	10.8
2	ソルブ	5.1	群馬エム・イーテクニカルサービス	4.4	日東	10.3
3	望星サイエンス	4.9	シーアールメディカル	3.6	ムトウ	8.8
4	八神製作所	4.4	栗原レントゲン	3.2	アステック	6.7
5	メディセオメディカル	3.9	メディコ	2.9	三陽	4.2
6	当社	3.5	富士フィルムメディカル	2.7	中嶋メディカルサプライ	3.9
7	東和医科器械	3.5	エムシー	2.5	コニカミノルタメディカル	3.5
8	フジフィルムメディカル	3.2	KSオリンパス	2.2	富士フィルムメディカル	3.3
9	コニカミノルタメディカル	2.8	川崎医療器	1.9	セントラルメディカル	2.8
10	サンライフ	2.8	ディーブイエックス	1.8	双葉	2.7

出所)「医療機器・用品年鑑2007年度版市場分析編」(株)オールアンドディ発行より

業界順位(専業ディーラー別)

(単位:%)

順位	栃木県		埼玉県		全国
	社名	シェア	社名	シェア	社名
1	サンメディックス	21.2	栗原医療器械店	8.9	(株)ムトウ
2	日成メディカル	9.3	ムトウ	6.2	(株)八神製作所
3	栗原医療器械店	8.9	ウィンインターナショナル	3.8	(株)メディセオメディカル
4	富士フィルムメディカル	3.4	富士フィルムメディカル	3.2	(株)日本ホスピタルサービス
5	エムシー	3.1	平和医用商会	2.8	宮野医療器(株)
6	KSオリンパス	2.8	いわしや盛田器械店	2.8	小西医療器(株)
7	いわしや丸富器械店	2.6	アイティーシー	2.2	当社
8	栃木放射線	2.6	コニカミノルタメディカル	2.1	グリーンホスピタルサプライ(株)
9	アスト	2.3	コマツ医科工業	2.0	(株)竹山
10	イオス商事	1.4	アスト	2.0	(株)栗原医療器械店

出所)「医療機器・用品年鑑2007年度版市場分析編」(株)オールアンドディ発行より

病院経営セミナー

2007年 3月	演 題	【勝ち残る病院、勝利の方程式】 【病院経営再生テクニック】
	講 師	春秋会 城山病院 病院長 田辺氏 (株)メディカルクリエイト 代表取締役 堤氏
	場 所	静岡音楽館AOI (静岡県静岡市)
	参加人数	60名
2007年 8月	講 師	(株)メディカルクリエイト 代表取締役 堤氏 他
	場 所	パシフィコ横浜 (神奈川県横浜市)

当社主催 展示会

2007年10月	Medimesse-g 2007
場 所	グランシップ
講 演	[患者の思い、患者の本音] 室井佑月氏
参加人数	444名